



画像提供:株式会社LIFESCAPES

当院ではこの12月に、
脳科学とAI技術を融合させた
先端機器「BMI」を導入
しました。脳卒中後の運動麻痺の
リハビリテーションに
活用していきます。

博愛記念病院 月刊広報誌

2024.12
FREE PAPER

麻痺に対応した先端機器
Brain Machine Interface (BMI)



当院では、常に質の高い医療サービスを提供することを目指しており、最先端の医療技術の導入にも積極的に取り組んでいます。この度、今年3月に医療機器承認を受けたLIFESCAPES社製の医療用Brain Machine Interface(BMI)を新たに導入しました。非侵襲型のBMIで、ヘッドセットに備わる電極を頭皮に貼り付けることでリアルタイムに脳波を読み取り、それを電動装具に伝えることで、手指の運動をサポートするといったものです。

これまでも当院では回復期リハビリテーション病棟を中心に、脳血管疾患を患った方に対して「徹底した離床」「摂食嚥下リハビリテーション」「排泄リハビリテーション」に重点を置いた訓練プログラムはもちろん、ロボットスーツHAL®などの先進技術を用いたリハビリテーション機器も積極的に活用してきました。

脳卒中後の運動麻痺に関しては、「パワーアシストハンド」や「IVES®(アイビス)」なども取り入れていましたが、これらを用いたリハビリテーションではその効果を感じるまでに多くの時間を要し、また麻痺が重度



メーカー担当者を招き、安全使用に必要な知識を学びました。

であるほどその効果が届きにくいという課題がありました。

脳科学とAI技術を融合させたBMIを用いることで、「動かそう」とするイメージと実際の動作が連動し、これまでは引き出すことのできなかつた脳の可塑性を最大限引き出すことにつながります。

専用の端末モニターでは脳波の状態をリアルタイムで確認できるほか、訓練ごとにトレーニング結果を確認できるため、より高いフィードバックが期待できます。実際に運動企図が筋肉に伝達できず、従来の治療で十分な成果が得られなかった重度麻痺の症例での治療効果も認められています。

私たちはこうした有効性が高く、治療の新たな選択肢となり得るものについて積極的に導入を進めています。当然、安全が第一ですから、実際の使用に向けては事前にメーカー担当者による講習を実施の上、必要な知識を習得し、「LIFESCAPES 医療用BMI(手指タイプ)安全使用者講習修了証」の発行を受けたスタッフが行っています。またスタッフ同士で自ら実際に機器を体感しながらの操作訓練を行っています。



次はいよいよ実践。参加者全員がそれまで以上に真剣な面持ち。



HAKUAI PHOTO SNAP



新入職員の不安をメンターがサポート！成長を支えます。



毎週郷土料理を提供！今週は秋田のきりたんぼでした。



今月の正面玄関。大きなクリスマスツリーが彩ります！



日本慢性期医療学会の発表で横浜へ！有意義な時間でした。



デイケア利用者さんとおでかけ。植物園を楽しみました！

information:

整形外科外来からのお知らせ

平素より温かいご支援・ご愛顧を賜りまして
ありがとうございます。整形外科外来では
12月より佐古田先生による診療を再開い
たしました。診療日時等についての詳細は、
当院ホームページをぜひご確認ください。



入院の受け入れやそのほか、なんでもご相談ください！

医療法人 平成博愛会
博愛記念病院
HAKUAI MEMORIAL HOSPITAL

088-669-2166

〒770-8023 徳島県徳島市勝占町惣田9
☎ 088-669-3362 ✉ info@hakuaihp.jp

当院について
詳しくはこちら！



博愛記念病院